

議 事 要 旨

1 開会

- ・事務局（海陽町 住民環境課 堀川）の司会により開会（10時30分）
- ・配布資料の確認（配布資料は以下の10点）
 - ・協議会次第
 - ・協議会委員名簿
 - ・【資料1】令和6年度海陽町地域公共交通活性化協議会事業報告
 - ・【参考資料1】海陽町地域公共交通計画の送付について
 - ・【参考資料2】海陽町地域公共交通計画の概要
 - ・【資料2】令和6年度海陽町地域公共交通活性化協議会収支決算書
 - ・【資料2-1】令和6年度会計監査報告書
 - ・【資料3】令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
 - ・【資料4】令和7年度海陽町地域公共交通活性化協議会スケジュール（案）
 - ・【別添1】町営バスの新交通への変革に向けた公共ライドシェア及び交通形態の検討業務
本年度実施概要

・開会

- ・Web参加者は以下のとおり。
- ・Web参加者
徳島県生活環境部 交通政策課係長 山田知成委員
- ・本日の協議会は委員15名が出席し、会議設立要件の過半数を満たしていることが報告された。

2 会長挨拶

- ・横会長より挨拶（内容は以下のとおり）

改めまして、本日、令和7年度第1回海陽町地域公共交通活性化協議会にご出席くださり、誠にありがとうございます。

本協議会は、公共交通会議の出席者のほか、鉄道等の関係者を加え、地域公共交通計画の協議及び計画の実施に係る連絡調整を行う場として位置づけております。

昨年度より、1月以降、繁忙の中、計3回の会議を開催いたしましたこと、並びに3月末までに「地域公共交通計画」を策定できましたことにつきまして、関係者の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

おかげさまで、国土交通省「交通空白」解消緊急解消対策事業として有利な補助金を採択することができました。

現在は、その補助金を活用し、宍喰地区におけるフルデマンド型の公共ライドシェアの実証運行を進めるとともに、海部・海南地区の地域特性を踏まえた交通形態の変革を目指しており、本日まで出席のイツモスマイルデジタルソリューションズ株式会社様と共同して計画を推進しているところでございます。

本日審議を予定している議案は多岐にわたりますが、これから担当者および業務委託事業者の方々から説明をいただきますので、委員の皆様には活発なご意見を賜りますようお願い申し上げます。

本日は、よろしくようお願い申し上げます。

3 委員紹介

- 事務局
- ・議事の運営は協議会規約（第8条第1項）に基づき、当会議の会長であります横会長にお願いいたします。
 - ・次第3の委員紹介についてご案内いたします。お手元に委員名簿を配布しておりますので、皆さま
-

ご確認くださいませようお願いいたします。なお、本日新たに委員となられました方には、本来であれば町長が委嘱状をお渡しするところがございますが、あらかじめお席にお配りさせていただいております。ご了承のほど、よろしくお願いいたします。

4 議事

【報告事項】

(1) 令和6年度事業報告について

事務局 ※資料1「令和6年度海陽町地域公共交通活性化協議会事業報告」の説明(略)
※参考資料1「海陽町地域公共交通計画の送付について」の説明(略)
※参考資料2「海陽町地域公共交通計画の概要」の説明(略)

(2) 令和6年度海陽町地域公共交通活性化協議会収支決算報告(見込み)について

事務局 ※資料2「令和6年度海陽町地域公共交通活性化協議会収支決算書」の説明(略)

横会長 ・長井監事より、監査報告をお願いします。

長井監事 ・資料2-1「令和6年度会計監査報告書」をご参照ください。令和6年度会計監査報告書でございます。

海陽町地域公共交通活性化協議会規約第6条第6項の規定により、海陽町地域公共交通活性化協議会の令和6年度分の会計監査を実施しましたので、以下のとおりご報告申し上げます。

監査日：令和7年4月30日

監査内容：令和6年度の同協議会の収入及び支出について、事務局の立会いのもと、収入及び支出に伴う書類を対象として監査を実施しました。

監査結果：預金通帳の収入及び支出並びにそれに伴う関係書類は、適正かつ正確に処理されていることを確認しました。

以上、ご報告申し上げます。

横会長 ・ありがとうございました。

ただいま、監査報告を申し上げます。本件についてご質問・ご異議等がございますか。

委員一同 (特に意見なし)

【協議事項】

(1) 令和7年度事業計画(案)および収支予算(案)について

事務局 ※資料3「令和7年度事業計画(案)および収支予算(案)について」および資料4「令和7年度海陽町地域公共交通活性化協議会スケジュール(案)」について説明(略)

横会長 ・ただいまの事務局からの説明につきまして、ご質問・ご異議等ございませんでしょうか。

委員一同 (特に異議なし)

(2) 令和7年度町営バスの新交通への変革に向けた公共ライドシェア実証運行および交通形態の検討業務について

OBS ・私、青木からご説明申し上げます。お手元の別添1資料「町営バスの新交通への変革に向けた公共ライドシェアおよび交通形態の検討業務 本年度実施概要」をご参照ください。頁をめくり全体の実施概要につきまして、ご説明いたします。

1) 事業期間・全体像

本事業は、今年度8月から来年度2月末までを事業期間と想定しております。現在すでにキックオフを迎え、着実に進行しております。

事業は大きく2つの柱で実施します。

第1の柱：地域公共交通の検討調査業務

第2の柱：宍喰地区におけるデマンド交通システムの導入業務

2) 第1の柱：地域公共交通の検討調査業務

目的：今後の町内公共交通の在り方を検討する中で、特に海部・海南エリアを中心に検討を進めることとします。

実施概要：既存データの洗い出し・分析を行い、そのうえで次の調査を実施します。

町内主要施設にブースを設置し、利用者がどのように来訪しているかをインタビュー・ヒアリングします。

住民の方々への聴取、ワークショップの実施を通じて実態把握を行います。

公共交通として最低限のサービスレベル水準と、理想水準を検討します。あわせて、行政負担額・クロスセクター効果の分析を行い、最終的には新交通形態の素案を作成します。

日本版ライドシェアの検討については、公共交通事業者の車両に限らず町民の民間車両を活用する制度の検討も進め、民間部会の設置を含めて検討を進めます。

なお、データ分析・現状把握の結果を踏まえ、適切な施策の展開を図ってまいります。

3) 第2の柱：宍喰地区におけるデマンド交通システム導入業務

目的：宍喰地区はもちろん、町内全体で運用可能となるデマンド交通システムを構築します。

実施内容：車両の購入、予約システムの導入、各種関係者への説明会の実施、システム構築に伴う諸作業を実施します。

併せて、右下の8番に掲げる問合せコールセンターの検証も行います。役場の予約受付を外部コールセンターが担う場合の有用性等を評価します。

4) 事業体制と協力体制

事業体制は、住民環境課を中心として、イツモスマイルデジタルソリューションズ株式会社が実務を担当します。

ただし、当該事業は単独の知識体系だけでは推進できないため、システム関連の開発についてはウィルスマートという企業を再委託で参画させます。

調査業務・検討業務につきましてはキャノンビズアテンダ株式会社と協力して実施します。その他、複数のサポート事業者と連携して事業を進めてまいります。

日本版ライドシェアにつきましては民間部会を立ち上げ、接続可能な形態を含めて検討を進めていく予定です。

5) 主要メンバーと組織運用

本事業の推進体制は、私を中心に、プロジェクトリーダーである駒形氏・吉越氏を軸とし、各担当チームを設置して役割分担のもとで進めます。

システム開発と調査業務は別の業務として分担し、適切な組織体制の下で円滑に事業を実施します。

6) スケジュールの概要

調査業務は年内を目途に着実に進め、途中経過・資料の提出準備を整えます。

システム開発も年内を目途とし、来年には宍喰地区でのデマンド実証実験を実施する予定です。具体的な日程は今後の協議会等で共有します。

以上が私からの説明の要旨です。ご不明点や補足のご要望がございましたらお知らせください。

横会長 ・ただいま説明がございましたけれども、何かご質問等ございましたでしょうか。

課長 ・イツモスマイルデジタルソリューションズ株式会社様から、委託事業者としての概要説明をいただきました。これまで宍喰地区においてデマンドバスを核とする改革を開始しており、宍喰地区の改革を今年度さらにバージョンアップさせながら、今度は海部地区・海南地区全体の公共交通・バス

の在り方について、今説明をされた方々と一体となって、より良い方策を作り上げていこうと動いているところです。国の補助金につきましては、先ほど会長が述べられたとおり、概ね3分の2に500万円を加算した定額補助金をいただいております。国は今年度から3年間かけて全国の交通空白地帯を少しでも解消するようてこ入れをしたいという趣旨で、緊急的にこの3年間、力を入れたいとお示しになっておりますので、その間を逃さないように、私どもは一生懸命取り組んでまいりたいと存じます。それで、今後先ほどの青木様の方からお話しがあったように、各それぞれの事業者さん、タクシー会社等、阿佐鉄さん等、JRさん、南部バスさん、それぞれの事業所の方々のほかにも、地域住民の皆さま方からいろんな形で声を伺わせていただきたいというところで、いろいろな形で今後半年かけてご協力を願えればと考えておりますので、よろしくお願いをいたします。何かお気付きの点があれば、遠慮なくご指摘いただければ幸いです。

横会長 ・ ただいま、事務局からの説明がございましたけれども、何かご質問ございませんか。

大谷委員 ・ 別添1資料「町営バスの新交通への変革に向けた公共ライドシェア実証運行及び交通形態の検討業務」について、以下の点につきまして教示ください。

1) 実施概要の2ページに記載のバスOD調査について

- ・ どこからどこへ移動するか、利用者の目的・手段等は、具体的にどの項目をどのような形式で調査する予定でしょうか。
- ・ 調査方法の区分（アンケート、観測、インタビュー等）と、集計・分析の方針はどうなっていますか。

2) クロスセクターの効果分析について

- ・ これは他の行政分野への提言として、公共交通の必要性を示す指標として位置づける理解でよろしいでしょうか。
- ・ 指標の設定観点として、量（件数・人数・移動回数等）、目的、観点等、どのような観点で設計する予定ですか。

3) デマンド型の穴喰地区の導入状況について

- ・ 穴喰地区への導入は既に実施済みか、計画段階か、地区別の適用範囲はどうなっていますか。お忙しいところ恐れ入りますが、ご回答のほどよろしくお願いいたします。

OBS ・ OD調査につきましては、通常であればバスに乗車された方に対しビンゴシートのような用紙をお渡ししてアンケートを実施するところですが、本件ではこれまでの各種データで不足している点を補填する形で実施する予定とさせていただいております。なお、乗車がなかった場合の取扱いについても検討しており、バス停で待機のうえ配布する方法が適切かどうか等を現在詰めております。質問項目につきましては、どこからどこまで移動したか、何の目的で乗車したか、年代など基本的な事項を中心に調査を進める予定です。次に、クロスセクター効果分析については、公共交通を変革することによって医療費に対してどのような影響があるか、経済に対してどのような影響があるかといった指標を、総務省および国土交通省の公表指標に照らして検討し、海陽町でデマンド交通へ転換した場合の医療費削減見込み等を波及効果として数値化する具体的な項目となります。ここは複数の課と連携しながら進めることとなりますが、公共交通が改革されることにより、例えば現状で毎年度3,000万円の予算を投入しているといった財政仮定の下でも、単純な赤字計上にとどまらず、他の部門へ及ぶ影響を含めて公共交通の費用が必要なものであることを正当に説明できるデータとするため、さまざまな波及効果を検討してまいります。さらにデマンド交通のシステムにつきましては、我が社は神山町様で既に同様のシステムを導入している例を踏まえつつ、ウィルスマート社のシステムをはじめとして他県の事例（長崎県平戸市等）やカーシェアリングのシステム等を参考にしつつ、海陽町様にとって最適なシステムへ組み替え・改良を進めてまいります。なお、

当社としては公的要請に応じた柔軟な対応を心掛けており、各種ご指摘等がございましたら遠慮なくお申し出ください。

横会長 ・本件について、ほかにご質問はございますか。これをもちまして、議題2「令和7年度町営バスの新交通への変革に向けた公共ライドシェア実証運行及び交通形態の検討調査業務」について、ご了承いただいたものとして取り扱ってよろしいでしょうか。

委員一同 (特に異議なし)

5 その他

委員一同 (特に意見なし)

横会長 ・特に意見がないようなので、以上で本日の議案審議は全て終了いたします。

・横会長より挨拶(閉会の挨拶は以下のとおり)

本日は、慎重審議いただき誠にありがとうございました。以上をもちまして令和7年度第1回海陽町地域公共交通活性化協議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

5 閉会

・横会長の司会により閉会(11時10分)